

平成30年度第3回茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会会議録

議題	1 認定コミュニティの認定基準への適合に関する事項及び認定コミュニティの活動と特定事業に関する事項の審議方法等について 2 その他
日時	平成31年2月15日（金）10時00分から11時30分まで
場所	市役所本庁舎5階特別会議室
出席者氏名	安藤委員、柿澤委員、北川委員、水島委員、澤邑委員、名和田委員、三輪委員 （事務局）市民自治推進課 富田課長、永倉課長補佐、木村課長補佐、小松担当主査、窪田副主査、忠隈副主査
会議資料	資料1 今後のスケジュール 資料2-1 認定コミュニティ活動状況資料（サンプル） 資料2-2 認定審査基準確認表（サンプル） 資料2-3 主要事業の実績表（サンプル） 資料3 助言シート新旧対象表 資料4 茅ヶ崎市の支援等の在り方に関する助言シート（案） 参考資料 茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例に基づくコミュニティの認定状況等について
会議の公開・非公開	公開
非公開の理由	—
傍聴者数	0名

（会議の概要）

○事務局（富田課長）

では、ただいまより、平成30年度第3回茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会を開催させていただきます。

茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会規則第5条第1項におきまして「審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。」と規定がございます。このことから、今後の議事につきましては、名和田会長の進行でよろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、事務局より資料の確認をさせていただきます。よろしいでしょうか。

まず、次第になります。

続いて、資料1、右上に四角で囲ってあります資料1「今後のスケジュール」でございます。

続いて、資料2-1、29年度実績のサンプルと大きく書いてあるものになります。冊子であります。

資料2-2、こちらもサンプルというA3の縦の資料でございます。

続きまして、資料2-3、こちらもサンプルとして、A3の横のスケジュール関係でございます。

そして、資料3、助言シートの対照表。A3の横になります。

そして、資料4、A3の「茅ヶ崎市の支援等の在り方に関する助言シート（案）」というものになります。

そして、最後に参考資料といたしまして、「茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例に基づくコミュニティの認定状況等について」でございます。特定事業の採択されたものが一覧として載っております。

以上、ご用意をさせていただいております。事前に送付させていただいておりますが、漏れ等ございませんでしょうか。

そのほか、机上に置かせていただきましたのが、12月15日以降に作成された各地区まちぢから協議会の広報紙等をお配りしております。

よろしいでしょうか。

それでは、名和田会長、よろしく願いいたします。

○名和田会長

では、これから始めたいと思います。

改めまして、おはようございます。よろしくお願いいたします。

では、まず冒頭、会議の開催要件の確認をさせていただきます。

地域コミュニティ審議会規則第5条第2項において、「審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」と規定されております。本日は過半数の出席がでございます。今、7名中6名が出席していきまして、もう1名、遅参すると連絡がありました。いずれにしても定足数に達していますので、この会議は成立しますということであります。

それから、傍聴人はいらっしゃらないので、来られたら改めて注意事項を確認します。会議は公開です。

本日の会議の議事録署名人ですけれども、名簿順ということになっておりまして、前回は安藤委員より署名をいただきました。今回は柿澤委員にお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。

○柿澤委員

はい。

○名和田議長

よろしくお願ひいたします。

これから審議に入る前に、前回の平成30年7月2日以降、新しく特定事業の認定を受けた地区もありますので、報告をお願いいたします。

○事務局（富田課長）

それでは、お手元の参考資料をご覧いただきたいと思ひます。

認定コミュニティにつきましては、市内13地区のうち12地区で認定をいただいております。あと1地区につきましては、まだまちぢから協議会の立ち上げ、認定等の手続に至っていない状況でございます。ただ、この1年間、単位自治会の説明、あるいはその地区で活動する各種団体、地区社会福祉協議会、体育振興会などの会議の前段に、職員が向かひまして、まちぢから協議会についてのご説明、意見交換を重ねてきたところでございます。

このように湘北地区の地域の方々と意見交換を行う中で、立ち上がっていない湘北地区については、これまでどおりの設立準備会を立ち上げて検討するというよりも、地域の中にまちぢから協議会の趣旨を醸成していこうという形になっております。

具体的には、市民集会の在り方を、自治会だけで運営するのではなく、各種団体を取り込んだ形で平成31年度については、やっていきたいと確認をしている状況であります。

いずれにしましても、立ち上がっていない地区につきましても、その中で立ち上げに向けた機運を高められており、そういった動きがあるということをご報告させていただきます。

続きまして、前回、第2回の審議会で報告いたしました以降、地区から上がってきました特定事業助成金を活用した提案事業についてご紹介をさせていただきます。

資料2ページの8番までは、前回報告をさせていただいた内容です。

3ページの9、10、11、南湖地区の納涼盆踊り、そして松林地区の広報活動事業、11番、海岸地区の広報掲示板の設置事業、この3事業が茅ヶ崎市認定コミュニティ企画事業審査会で諮られ、認定されたところでございます。

また、3月11日を予定しておりますけれども、来年度早々に地域で取り組んでいただく事業につきまして、松林地区のふくろう塾、そして、おむすび松林、浜須賀地区の地域乳幼児サポート事業、浜須賀の広報発行事業、松浪地区、そして海岸地区、それぞれ広報発行事業を改めて審査するという運びとなっております。

以上でございます。

○名和田議長

ありがとうございました。

今のご報告ですけれども、何かご質問、あるいは感想、ご意見等ありますでしょうか。

特定事業でほかに新しい活動を始めようかというご意向は、各地域で出ている、つぼみみたいなものは話し合われていますか。

○事務局（富田課長）

まず、過去、28年度から制度が始まっておりますけれども、新しく提案のあった事業は、11番の広報掲示板設置事業です。これは新しい視点で取り組みが始まった取り組みであり、海岸地区まちぢから協議会を構成する自治会に、1つずつ共通の掲示板を設置して、市民にいろいろな情報提供をしていこうといった取り組みです。

あと、今後、各地区からつぼみといいますか、そういったものというのは、今のところは聞いておりません。

特定事業の補助金は使わないまでも、地域の中で自主的にまちぢから協議会が主催して事業をやっているのが、小出地区で、昔からの七福神めぐりというものを改めてまちぢから協議会で地域住民に呼びかけて実施したという実績が1月にございました。補助金を使わずに参加者負担でできる範囲でやろうという取り組みも始まっているところでございます。

以上です。

○名和田議長

ありがとうございました。

ほかにご質問とかご意見とかありませんか。

○北川委員

湘北地区が立ち上がらないということで、私は実家が香川なので、ずっと以前から立ち上がらないとお聞きしていたんですけれども、何かそのあたりの理由とかを教えてください。

○事務局（富田課長）

この地区につきましては、これまでもいろいろ話を重ねてきたところでございますけれども、ある一部の自治会の中から、まちぢから協議会の必要性でありますとか、そういったところがまだストーンと落ちてこない、言い方を変えると、行政からの押しつけのように見えてしまうであるとか、今までうまくいっているのに、なぜ協議会が必要なのかとか、そういったところの意見がいつも我々と平行線まま、結びつかないところがございます。

その中でも徐々に協議会組織の必要性、他の自治会との連携のあり方、各種団体を取り込んだ地域の課題解決に向けた取り組みが必要だということころは、徐々に浸透し始めているかと思えます。

ただ、一方で、委員のご出身の香川は、市内で一番大きい自治会でございます、その自治会の中である程度完結しており、自治会の中に町内会があつて、そこで活動していると、自己完結がある程度できているような部分もございます。そういったところもあつて、なかなか新たな制度に向けての一步が踏み出しづらい部分があるのかなという印象を受けます。

ちなみに、2月の上旬でしたけれども、香川地区の香川自治会の役員、理事の皆様と意見交換をしてきたところでございます。

○北川委員

ありがとうございます。

○名和田議長

ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

では、次に進みたいと思います。

次は、議題の（1）に進ませていただきます。

今回、認定申請に対する調査審議そのものではなく、「認定コミュニティの認定基準への適合に関する事項及び認定コミュニティの活動と特定事業に関する事項の審議方法等について」市長から意見を求められております。では、事務局からお願いいたします。

○事務局（富田課長）

それでは、審議をしていただくに当たりまして、茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例第8条の規定に基づきまして、市長に代わり諮問を総務部長よりさせていただきます。

○事務局（秋津部長）

市長に代わりまして、諮問をさせていただきます。

茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会会長、名和田是彦様。

認定コミュニティによる公益の増進のための活動に関する調査審議について、茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会規則第2条の規定に基づき諮問をいたします。

諮問する事案につきましては、「認定基準への適合に関する事項及び認定コミュニティの活動と特定事業に関する事項の審議方法等について」でございます。

どうぞよろしく願いいたします。

○名和田議長

今、諮問をいただきました。このコピーを配っていただけますでしょうか。

（事務局で諮問書のコピーを配付する）

○事務局（富田課長）

それでは、会長、失礼いたします。ここで総務部長は、他の公務がございますので、退席いたします。

○事務局（秋津部長）

皆様、よろしく願いいたします。

（秋津部長退席）

○名和田議長

では、改めて議題（1）を進めていきたいと思えます。

事務局より説明のありました諮問に対して、本審議会として調査審議をし、その結果を答申するということでもあります。この同じような諮問を1年前も受けたかと思えます。要するに、審議方法ですね。こういうフォーマットで審議をしていいかということ、改めて1年たったところでまた議論いただくということであるかと思えます。

では、事務局からご説明をお願いします。

○事務局（永倉課長補佐）

まずは、資料1「今後のスケジュール」をご覧ください。今後の流れについてご説明いたします。

まず、一番上にある2月15日とあるのが本日の審議会でございます。

来年度につきましては、今年度と同様に3回の審議会開催を予定しております。

順番に見ていきますと、6月下旬、そして10月、2月～3月、以上3回になりまして、6月は各地区認定コミュニティの適合状況に加え、活動状況や市の支援等の在り方について、30年度の振り返りを中心にご審議いただくものです。10月の第2回審議会はこの認定コミュニティに関する条例が施行し、ここで3年が経過し、支援の在り方など制度検証を行った取りまとめ結果につきまして、ご意見をいただく予定となっております。そして2月～3月に開催を予定しております第3回審議会では、本日と同じ内容で、32年度に入って31年度の振り返りに向けてご審議をいただく予定となっております。

本日の審議会の目的は、先ほど諮問させていただきましたが、来年度に入り、6月下旬に実施いたします「平成31年度第1回茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会」でご審議をいただきます「各地区認定コミュニティの認定基準への適合に関する事項」と「認定コミュニティの活動と特定事業に関する事項」の審議方法等について、特にその前段階といたしまして、事前にご返送いただく助言シートに対してのご意見をいただくものです。

「第1回審議会」につきましては、昨年5月に開催した審議会同様に、認定コミュニティが12地区と多く、当日の議事の進行を踏まえ、事前にお送りした資料をお読みいただき、お気づきの点や助言内容を、先に助言シートという形で市へ返送いただき、その内容を取りまとめたものを当日の審議会でも共有したり、話し合っていたりしていただこうと思っております。

いま一度スケジュールの確認をしていただきまして、こちら、5月31日（金）に、まず各地区の総会が終わった後、資料等の取りまとめを行いまして、委員の皆様には資料のほうをご送付させていただこうと考えております。

その下、6月8日に茅ヶ崎市まちぢから協議会情報交換会というものを記載しております。こちらにつきましては、平成30年度から新たな取り組みとして開催されたものとなりますが、各地区が日々の取り組みや特定事業の活動発表などを行い、情報交換が行われております。かねてから審議会の皆様からのご意見の中で、なかなか送付されてくる資料だけではわかりにくいというお声をいただいております。地区の取り組みが見えないというご意見をいただいております。また、各地区の活動発表の場があれば見てみたいといったご意見を今までいただいておりますことから、今年度につきましては、各地区で発行した広報紙等を2度今まで送付させていただきまして、また、今日、追加の資料ということで、各地区の広報紙等をお送りさせていただいております。

そういった広報紙の資料もそうですが、できれば、任意にはなってしまいますが、審議会の皆様にご参加をいただきまして、地区の状況等を実際に体感していただければよろしいかと思っております。

実際の審議につきましては、6月の第1回、1地区の審議を15分、12地区で3時間

に加えまして、市の支援の在り方等、総括的なご議論を行い、途中休憩を15分入れたとしても、午後1時～5時のぎりぎりの時間配分となろうかと思えます。

また、各地区の取り組みについては、15分と時間が限られていることから、認定基準への適合については、市の地区担当より事前に確認していることを報告するのみとして、平成30年度中に起こった地区の中の特記事項を口頭で説明させていただきたく、その後、各委員から事前に提出、これは6月中旬を予定しておりますが、提出いただいた助言シートの内容について話し合ってください、各地区に対しての助言をいただきたいと考えております。

資料2-1から2-3をご覧ください。こちらは本日サンプルとして平成29年度の浜須賀地区の資料をご用意いたしました。

こちらと同じ形で各地区の総会を終えた5月31日に、30年度の1年間の事業や翌年度の予算、取り組みについてまとめた資料として2-1を、また認定コミュニティの要件の適合状況を取りまとめた資料として2-2を、各地区の主要な事業の実績について、年間を通した活動の状況や関係性が分かる資料として2-3をひとまとめにしまして、さらに、こちら、資料は12地区分ございますので、1セットのもの12セットをまとめてお送りさせていただきます。

繰り返しになりますが、この送られた資料に加えまして、委員の皆様のご都合がよろしければ、6月8日（土）午後開催予定の情報交換会で各地区の取り組み状況等の発表をご覧くださいまして、各地区の活動状況を把握いただきたいと思いますと考えております。

その上で各地区への助言を審議会前に事前に記載していただくものといたしまして、本日話し合いをしていただきます資料3と4がございます。

資料3をご覧ください。

資料3につきましては、左側が30年5月に、29年度の各地区の振り返りを受けて、各審議会委員の皆様から将来に対する活動の助言、期待等を記載していただいたシートとなりまして、各地区の認定コミュニティの活動状況について、地区担当職員から1年間の振り返りコメントを記載した上で、ご助言等をいただいております。

そして、右側が今回、31年6月に30年度の地区の振り返りに対する助言シートといたしまして新しく改定したものになります。前回までのシートに加え、今回は「追加」となっている部分を新たに加えております。こちらは、前委員で行われた「第1回審議会」で各地区に対していただいた助言や期待することに加え、現委員で行なわれました「第2回審議会」でいただいた助言や期待することをあわせて記載しようと考えております。

この各地区の助言を受けて、各地区担当が30年度の活動全般について1年間の振り返りとしてコメントを記載したシートをまずはご送付させていただきます。その上で、委員の皆様には、審議会委員（コメント）の欄に、「30年度の各地区による報告資料」「送

付した広報紙など」「情報交換会に参加した際に知った地域の取り組み」、また「上記に記載してある地区担当職員のコメント」を踏まえた上で、運営に関する課題や、その改善のヒント、また地区に期待することなどの助言を記入していただきたいと考えております。

続きまして、資料4をご覧ください。こちらは「茅ヶ崎市の支援等の在り方に関する助言シート」になり、新しく作成したものになります。

こちらは、まず上段部分に、先ほど同様に第1回と第2回の審議会において、委員の皆様から各地区の助言等をお聞きする中で、市の支援の在り方についてアドバイス等をいただき、答申としていただいた内容を記載しております。

こちら、実際には項目ごとに記載することとなると思いますが、今のところ、中段にそれぞれの答申内容に対して、市の対応状況や考え方を記入しようと考えております。

この市の対応状況等を記載したものを事前にお送りいたしますので、それを受けて、審議会委員様のコメントを事前にご記入いただき、当日、審議会としてご意見をまとめていただくものとなります。

以上、説明になりますが、資料が多く、また説明がわかりにくい部分もあったかと思いますが、今ご説明させていただいた内容につきまして、よろしくご審議のほど、お願いいたします。

○名和田議長

ご説明ありがとうございました。

さっきも申しましたように、今日は、認定基準を満たしているかどうかという個別の認定コミュニティについての審議そのものではなくて、その前段階ですね。そういう審査をするときのフォーマットについて、改善すべき点があれば、意見を言ってほしい、そういうことであります。

主に資料3、これは去年あったものの改善提案ですけれども、各認定コミュニティに対する助言シート、それから、資料4が、これは、来年度に向けて新しくできたシートであるということでしたけれども、行政側の支援の在り方に関する助言シートという、この2つのシートについて、これでよいかということ審議していただきたいということでありまして、それに合わせて、サンプルとして出されております各協議会、認定コミュニティに関する資料も、こういう点を改善してもらいたいとか、そういったご意見があれば言っていただいても構わないと思います。

では、ご自由にお願ひしたいと思ひます。どこからでもご質問、あるいは改善意見等々お願ひいたします。いかがでしょうか。

○三輪委員

資料作成ありがとうございます。

質問ですけれども、確認として、まず、各団体がまとめる冊子というか、資料としては、資料2-1のみという理解で大丈夫ですか。

これは、特に内容を変えていないということですかね。

では、従来どおりのイメージだということですね。

あと、資料2-2に関しては、聞き取り等を踏まえて事務局がまとめる。おおよそこれは形式的というか、多分、全部適合していますということにならざるを得ないので、ほぼほぼ作業的には負荷がないだろうという理解でいいですよ。

あと、資料2-3、これは前も議論があったかと思うのですが、資料2-3については、今年度に関しては事務局がつくる。団体ではなくて、事務局が聞き取りをして、俯瞰して、作業としてこういう流れでやったというのをまとめるという理解ですかね。

ということは、団体が特に大きく負荷が新しく加わるようなことでは今回はないという理解でいいですか。

○事務局（永倉課長補佐）

委員おっしゃるとおり、資料2-1につきましては、これは各地区で1年間の振り返りといたしまして、総会資料を中心に予算・決算の状況ですとか、あとは、発行した広報紙等、こういったものを取りまとめとして事務局のほうに提出をいただくものになります。

また、資料2-2については、適合条件に関するものなので、こちらについては、事務局職員で適合状況を簡単な表としてまとめておりまして、当日は、本当に口頭でのみ、適合しておりますという確認になろうかと思われま。

そして資料2-3、こちらにつきましては、昨年5月の振り返りの審議会のときに地区担当職員が作成したもので、こちらは、作成したものについては、地区にフィードバックという形でお見せはしているのですが、まだなかなか地区でこちらまでつくっていただく作業というのは難しい部分もございますので、今年度につきましても、一応、地区担当職員で作成したものを提出しようと考えております。

しかしながら、各地区においては、こういった実際に俯瞰して、12地区の事業を見ることによって、こういったものがあっていいねというコメントをいただいておりますので、できればこういったものを活用して、例えば、翌年度の予算ですとか事業の取り組みについて、ご参考にしていただければと考えております。

以上になります。

○三輪委員

わかりました。

では、その点に加えると、例えば、資料3の助言シートの振り返りが、地区担当職員からのコメントだけでどうかと思っていて、自己評価じゃないのですけれども、自分で言葉を書くのは難しいとしたら、振り返りが単純に地区担当職員だけで書くのではなくて、一緒にディスカッションをする機会を、つまり、先ほどの資料2-3をつくりながら、今年は何頑張ったよねとか、ここに力を入れたよね、というどちらかというプラス思考の、できなかったことの拾い出しよりは、できてPRしたいことの拾い出しみたいなことを両者で出すという出し方ができたほうがいいかなと思うので、その辺が、今、資料的には、地元の方々がそういうことを記載する部分がないので、本来であれば、実績のところの一番上に、今年は何頑張ったことベスト5とか、そういうのがあってもいいかなとは思いますが、それが仮に負荷、向こうの方がつくる作業が大変だということであれば、それを資料の3に職員の方と一緒に整理するというような手順を踏んでいただくシートにしたらいかがかなというのがあります。

もう一点あるのですけれども、資料4は、これは全部なのですね。1団体につき1つではなくて、全てに、要は、1枚出てくるという理解で正しいですよ。

○事務局（永倉課長補佐）

まず、資料3につきましては、事務局でそういった発想はなかったのですが、確かに委員おっしゃられるとおり、各地区の方ともヒアリングをしながら作成した方が、より見えるものになると思いますので、そういったことを取り入れられるように工夫をしていきたいと考えております。

また、資料4につきましては、1枚のシートにそれぞれの対応状況について我々でも実際、制度の見直しですとか、そういったことを検討していますので、そういったことを踏まえて、実現できたもの、できなかったものについて、なぜできなかったという部分について書かせていただいて、それについての助言等をいただければと考えております。1枚の資料となります。

○三輪委員

わかりました。

○名和田議長

ありがとうございます。

今のご意見では、過年度の振り返りについては、担当職員と地域との対話の中から作成されるものともしてもらいたいということですかね。

後でまた答申内容の概略としてまとめたいと思いますけれども、とりあえずそういうご

意見でした。

ほかの委員の皆さん、いかがでしょうか。ご自分が作業されるシートですので、ぜひいろいろとやりやすいような意見を言ってください。

○安藤委員

資料4について質問ですけれども、先ほど説明されるときにもおっしゃっていたかもしれないのですが、この項目に分かれているそれぞれの項目で対応状況についてとか、そういうものが出てくるようなイメージで合っていますでしょうか。

○事務局（永倉課長補佐）

今、対応状況ということでまとめて書かせていただいておりますが、実際、こちらでお送りさせていただく際には、1の項目に対して1の回答がすぐ下にくるような書式にしたいと考えております。

○名和田議長

これ1枚では終わらないのではないかと思いますので。今は1ページだけ。

○事務局（永倉課長補佐）

昨年もそうだったのですけれども、実際、このシートが市の対応状況を書くことによってページ数が増えてまいりますので、A4が何枚かの資料になると思います。

また、資料3、資料4、そうなのですが、例年、各委員さんから、実際のデータで送付をして、エクセル等で作成しておりますので、そこに実際に記載した方がいいよということで、シートを送ってくださいというご依頼がありましたので、紙の資料とは別で、データでもお送りさせていただこうと考えております。

以上になります。

○安藤委員

これから、例えば、7項目あったら、極端な話、7枚、コメントもそれぞれにという形になってきますよね。そのほうが、これが課題で、こう対応して、できたとか、もう少しこうしたほうが良いという、具体的に何か進められるような気がします。

○事務局（永倉課長補佐）

ありがとうございます。

○名和田議長

助言シートが各委員から出てきますよね。都合7件かな。それをそちらでまとめて一覧化して我々の審議にかけるとのことなのでしょうけれども、その資料はどのようなフォーマットがいいとか、知恵は私にはないのですけれども、それもわかりやすくしていただけるといいなと思いますが。もしそういう点についてもお知恵があれば、ぜひ出していただきたいと思いますが。

さらに意見を求めたいと思います。

私からも質問ですけれども、資料4の助言シートの項目ですけれども、これはさっきのご説明ですと、昨年度の我々の答申内容の項目が1から7まで並んでいるということは、毎年度の我々の答申をベースにこれが出てくるということですね。だから、毎年更新されると考えていいのでしょうか。現時点で事務局が持っているイメージとしては。

○事務局（永倉課長補佐）

今回の資料4の1から7というものは、審議会の委員の皆様から答申という形で、市の支援の在り方についていただいたものになります。先ほど安藤委員から提案がありましたように、確かに1つ1つに対して審議会委員のコメントと用意した方がよろしいかと思えますので、シートが7枚になるイメージを持っていたいただければよろしいかと思えます。

○名和田議長

そうすると、次の年度の話はまだ早いのですけれども、次の年度はまた別の項目である可能性があるということですよ。そうやってどんどん我々の審議内容に応じて更新されるということですね。

始まったばかりの仕組みなので、我々も試行錯誤でいろいろ意見を言わねばならないと思います。いかがでしょうか。どうぞ。

○水島委員

資料4について、こういう意見が出たということで、それに対して市がこういう取り組みをしたと、そういうものが一回整理されたものに対して、またさらにこういうものがあるとか、こういう取り組みの仕方をしたほうがいいのか、そういうような意味合いで意見を出せばいいのでしょうか。

上の「求めます」とか書いてあるものに対して、どういうものを我々委員に期待をされているのか、その辺がよく理解できなかったのですが。

○事務局（永倉課長補佐）

まさに、例えば1番の自主財源の確保ということで、審議会からは「求めます」ということで答申をいただいております。その上で、30年度の各地区の取り組みもそうですし、あと、また、31年5月の下旬に我々で資料を送付する段階で、例えば、各地区の実績も含めて、事業収入をまちぢから協議会で得ることの、例えば税金の問題等もありますので、そういったことの課題があるのかとか、こういったことで難しいですとか、また、こういった方法で実現ができるといったことを回答したいと思いますので、またそれについてさらに、もっとこうした方がいいという助言があれば、任意でそれぞれ委員のコメントとして返送いただければと考えております。

○名和田議長

よろしいですか。

○水島委員

わかりました。よく理解できました。

資料3について、実は三輪委員がおっしゃったのと同じように資料を見ながら感じていました。事業自体が何をやったということで前年とほとんど同じような内容で出てきているものを評価するというのは、単純に見比べればいいのかもしれないですが、コメントを書く段になると、さらに頑張れと応援するようなコメントを書くには、材料的に結構丁寧に見ても難しいなと思いつつ見ていましたので、やりとりをしながらというのは、よりいいのかもしれませんが。なるべく担当地区の方のコメントのところは、ポイントよく整理して、その辺のところを考えながら、詳しく書いていただけるとありがたいなと思います。

○名和田議長

ありがとうございます。

あと、いかがでしょうか。

○北川委員

資料2-1で、まちぢから協議会から提出をしていただくという資料なのですが、この資料をまとめるという作業は、実際にまちぢから協議会としては、大変とか、そういった声はあるのでしょうか。

○事務局（永倉課長補佐）

こちら、資料2-1で使っている資料というものは、基本的な各地区で使われている総会の資料、また、それに加えて、市からの補助金を受けておりますので、補助金の報告の

資料として提出されたものを基本的に使っておりますので、特にこれのために改めてつくるといったものではないと、こちらでは把握しておりますので、各地区の負担としてはそれほど重くないものと思われま

○北川委員

ありがとうございます。

○名和田議長

さらにいかがでしょうか。

資料4は、ここで審議したことが項目となってあらわれていて、その意味では責任重大というか、昨年を思い起こしてみると、この7項目をまとめるときに、私、手元で必死にメモをとって、ここで確認させていただいて、後で事務局から整理したものが送られてきて、会長、副会長で確認するという作業なのですが、あの緊張感はより重大だったのだなということがよくわかって、この書きぶりで次の年度の作業が規定されていくわけですね。結構大変だなと、改めて責任の重大さを痛感しております。

ほかにいかがでしょうか。このシートで作業をしていって大丈夫でしょうか。どうぞ。

○三輪委員

資料4に関しては、具体的に言うと、2番とか、あるいは4番とか、多分解決されていないような気がするのですけれども、これは多分そういうコメントが出てきて、引き続きお願いします、みたいな感じで残るといいうのもありということでもいいんですよ。答申としては、来年度、31年度も30年度と同じくという項目が宿題的に蓄積されていくということで大丈夫ですか。

○事務局（永倉課長補佐）

まさに項番2の部分が、おそらく三輪委員お見込みのようなお答えになる可能性が高いと思います。それというのは、地域ごとの取り組みなので、我々が必ずしも強制できるものではないというところがございますので、おそらくそういった答えになってくると思われ

ます。あと、項番の4のところですね。財政支援の在り方については、実は先ほど、来年度の審議会の進め方の中で、第2回で皆様にご意見をいただくという話をしておるのですが、この制度は3年経過いたしまして、審議会の皆様からも、より使いやすい制度ということのご助言をいただいておりますので、そういったことを踏まえて、我々事務局で、今、制度の見直しの準備を進めているところでございます。

現状といたしましては、同じようなまちぢから協議会の取り組みをしている市町村にアンケートを送っておりまして、補助金の在り方ですとか、補助金の使い方という部分を確認しております。

それを踏まえて、来年度早々には各地区回りをさせていただいて、新しく補助金のもう少し使いやすい制度を提案いたしまして、そこのヒアリングを受けた上で、ある程度形になったものを10月ごろの審議会に、皆様に、こういった形になりそうですということを諮問答申させていただこうと考えております。

○三輪委員

わかりました。

○名和田議長

だから、今、7項目ありますけれども、これがまた来年、再来年度と形は若干変わるにしても、続いてあらわれる可能性が十分あるということで、1年で解決できるような話でもないことが結構並んでいますので、それはそういうものとして、遅いとか、早いとか、そういうことではないということですね。

ほかにいかがでしょうか。

では、大体これで作業を試みようということですかね。

○三輪委員

6月8日の情報交換会というのは、この審議に我々も参加するのに、現場の方の声を聞きたいというのは何遍も出ていたので、そういう設定になっているのですよね。これはどういう感じで発表会をされるイメージなのですか。去年もやっています、私たちは行っていませんけれども、どういうふうなイメージかちょっと教えていただけますか。

○事務局（永倉課長補佐）

ご説明いたします。

こちら、一応6月8日（土）の13時30分から15時30分の2時間を予定しております。来年度のやり方はまだ決まっていないのですが、今年度30年の6月に行われた第1回の情報交換会については、各地区の会長様から、地区の状況ですとか特性等をお話しいただくという時間と、あと、特定事業の取り組みの発表ということで、実際、取り組みをしている部会のメンバーですとか、特定事業の活動の中心になっている方が、パワーポイント等で事業のやっている様子ですとか、こういった取り組みをしているということを発表いただいて、ほかの地区にそういった取り組みを、横の広がりでも説明をして、活動を

広げていこうというものになります。

実際に情報交換会を終えまして、各地区の交流というのは活発になっておりまして、例えば、湘南地区の広報の取り組み、こちらを参考にしたいということで、他地区の方が実際に湘南地区に出向いて、広報部会の方と意見交換を行うとか、そういった取り組みは進んでおりますので、かなり有効的なものとなっていると思われま

以上です。

○三輪委員

わかりました。つまり、ステージがあって、パワーポイントでしゃべる、みたいなイメージですか。

○事務局（永倉課長補佐）

そうです。

○三輪委員

もうちょっとフランクでもいいのかなと思ったのですが。

○名和田議長

そのところのご助言等をいただけるとありがたいかなと思うのですけれども。

○三輪委員

堅苦しくない方がいいのかなと思います。若干お祭りのなイメージでもいいかもしれないなと思ったりしたのですけれども。多分、やり方次第だと思います。取り組みを紹介してくださいとあって、町会長がしゃべると堅くて、例えば、13番目でこれからというところというのは、自分たちがやってきたことのプレゼンテーションと何ら変わらないようなものを、仮に来られたときに、堅いにつまらないイメージがあるじゃないですか。さっきも申し上げたのですけれども、大体やっていることは似ているのですよ。情報公開、広報紙をつくって、例えば、子育て、高齢者、若干対象者が特化されるかもしれないのですけれども、大体やっていることは似ていて、それで言うと、どこに一番力を入れたかな、みたいなことの今年度のトピックを1つだけしゃべってもらうとかでも、やっていることはざっと説明するぐらいのものでよくて、特徴出しをしてもらった方がいいのではないかなと思ったのですけれども、もしかしたら時期尚早かもしれないので、タイミング的には今じゃないかもしれないのですけれども、やり方としては、今お話を聞きながら、堅いな、み

という気が、審査を受けるのかもしれない、みたいな、どういう紹介のされ方をするかにもよると思うのですけれども、覆面というわけにもいかないだろうし、その辺がしつらえ的に、我々が任意でも参加するというのであれば、あまり堅苦しくない方法で、皆さんが、事務局もおっしゃっているように、相互の連携とか、知恵を拝借し合うみたいなイメージなのだよねというのが前面に打ち出すのを、我々は見させてもらいますというしつらえの、ポスターづくりもそうなのですけれども、会場づくりとか、流れづくりみたいなものをちょっと意識していただいたほうがいいのではないかとというのが、これは私の感想です。

○事務局（永倉課長補佐）

ありがとうございます。

まさに、昨年、情報交換会を終えて、来年度のやり方というのはまだ決まっておられませんので、これからこちらを主催しているまちぢから協議会連絡会という各地区の会長さん、副会長さんが集まっている集まりがあって、そこでどんな形にしていくかというのを話し合いで決めてまいりますので、今いただいたご意見、お伝えして、少しでもやり方が反映できればと思います。

また、今お話の中で、13地区目の話が出たのですが、こちら、まちぢから協議会連絡会というものはまだ立ち上がっていない湘北地区も、会長さん、副会長、自治会連合会のお2人が入っていただいているんですね。30年度の情報交換会も、基本、各地区10名ということでお願いをしておったんですが、実際、この地区からは一番多い20名近くでしたか、一番多くの方が来ていただきまして、取り組みをかなり理解していただきまして、それを受けて、湘北地区の中では、まちぢから協議会やっぱいいよねとか、まちぢから協議会を受けることで特定の補助金等を受けられますので、そういったことで地区が活発になっていくことを望ましいと考えていただいた方がかなりいらっしゃって、かなり推進力につながったとは考えております。

以上であります。

○名和田議長

今の6月8日は、何となく行ってみようかみたいな雰囲気になっているのですけれども、そのこの在り方について、アドバイスのことがほかにもありましたら、ぜひここで承ったほうがよろしいかと思うのですけれども、どうですか。水島委員。

○水島委員

時間が2時間ですので、120分。12地区全部をやろうとすると10分ですから、何

か聞きたいような話が聞けないような、説明の時間だけで終わってしまうような気がします。ですから、多分、まちぢから協議会の会長さん、副会長さんの定例会みたいなのところの中で、関心のある、自分の地域でもというのは幾つもあると思うのですね。その辺をある程度中心的にやったほうがやはりいいのかな。また、少し担当の皆さんが、これではないけれども、違った取り組みをしている、さっきも1つ例がありましたけれども、そういうものの紹介があるなど、その方が次に発展していくような、参考になるような気がします。

○名和田議長

ありがとうございます。ほかにもぜひそういうアドバイスがあれば。どうぞ北川委員。

○北川委員

これは提案というところなのですが、各まち協の取り組みを、例えば、2分ぐらいの動画をつくってもらおうというような企画にしてしまって、2分、3分、CMみたいな発想なのですが、6月8日については、それぞれ3分なら3分で出してもらって、その地域のまち協の取り組みの魅力を伝えてもらう。そこに地域の人が入っているとか、そんなダイジェスト版がバンバン時間で出てくれば、要は、プレゼンテーションなんて慣れている、慣れていないがどうしても出てきてしまって、本当に得たい情報がなかなか出にくいのかなど。なので、8日までの間に、そういうものをつくって、ここは発表して、そこをテーマにみんなでお話をするぐらいのやり方もいいのかなというご提案です。この制度をいろいろな方に知ってもらうという意味で、広報がおそらく推進が難しいと思うのですが、とりわけ若い方々にお伝えするということで、動画を使ってみるといのはどうかなという意見であります。

○名和田議長

1つのアイデアとして、動画・編集は、結構、担当職員の負担になるかもしれないので。いろいろなやり方があると思うのですね。例えば、このぐらいのパネルを1つつくってもらおうとか。それで、発表会とは別に、もし何かあれば、ホワイエというところで展示をして、1人担当がついていて、質問に対して答えてもらう。いわゆるポスターセッションみたいな。それは僕が関係しているところでやっているケースがあるのですが、そういうふうにするとか、工夫の仕方はいろいろあると思うのですね。そういう工夫がもし委員のほうでも浮かびましたら、ぜひここでおっしゃっていただけるといいかなと思います。

動画は確かにできるといいですよ。ずっと使えますからね。その後もしばらく。

○水島委員

今のテーマからそれてしまって申しわけないのですけれども、昨年度だったか、13地区、全地域ごとに地区の中学生が地域自慢みたいな発表会を、一昨年でしたか、やって、結構好評だったというのを聞いたことがあるんですけれども、そういうのは特に新しい年度では予定がないのでしょうか。

○安藤委員

それは、おそらく青少年課でやっている、青少年指導員が年に1回、青少年の集いというのがあって、各地区の中学生のほぼ生徒会の子たちなのですけれども、それに発表していただいて、その青少年の活動のアピールという場でもあるのですけれども、ただ、昨年度から中学生、今、とても忙しいので、中学校に断られまして、なくなってしまったのですね。去年も今年も普通の講演会みたいなものになってしまったのです。子どもを本当は引き込んで、まちの中の力としてやっていけたらいいと思うのですけれども、今のお子さんたち、とても忙しいので、結構難しいみたいですね。

○水島委員

まちちから協議会の方、役員の方も含めて、非常に好評だったということで、自分の地域について、中学生の視点で、非常に関心も持てたと好評だったものですから、いい取り組みだなと思ったのですけれども、状況はわかりました。ありがとうございます。

○安藤委員

私、PTAをやっていたので、PTAの発表の場みたいなものもありまして、それがまる一日かけてなので、また全然違うかもしれないのですけれども、とてもいい場だったのですね。10分程度となると、あまり深い話もできないので、少し変わった取り組みをしているところなど、ある程度順番にはなりますが、そういったところが2つとか3つ代表になって、自分のこういった考えでこういう取り組みをしましたという発表をするという時間が午前中であって、午後は、分科会のようになって細かく分かれるのですね。各団体がバラバラにその分科会に入って、そのグループの中が大体12～13人ぐらいですかね。その中で、1つ課題が設けられていまして、その課題について、皆さん同じような課題を抱えていますので、12～13人だとすごく意見交換ができたり、質問もできたりして、お互いの問題点など、それに対するほかの団体の解決方法など勉強がすごくできる場だったので、それを参考にしてみてもいいかなと思いました。ただ、まる一日かかります。

○名和田議長

何年に1回か、そういうのをやってもいいかもしれないですね。分科会で深めるなど。

○事務局（富田課長）

6月8日の情報交換会についての皆様のご意見ありがとうございます。なるほどというところを正直に実感したところでございます。今日いただいたご意見、また答申という形でいただくかと思うのですが、この情報交換会を主催しておりますまちちから協議会連絡会、こちらとは一緒に取り組みの内容についても日々意見交換をしておりますので、そういった形のもをどこまでできるか、正直わからない部分はあるのですけれども、限られた時間の中で、いかに来ていただいた方に、来てよかったなと思っていただけるという視点を前提に、我々も一緒に考えていきたいと思っております。今日はありがとうございました。

○名和田議長

では、6月8日に限らず、ほかに言い残したご意見等はありませんでしょうか。

では、この辺でまとめてみたいと思っておりますが、一応諮問を受けているので、答申内容としてこんなことかなと思うのですけれども、いただいている提案の助言シートは、基本的にこれで来年度作業していいのではないかなということなのですけれども、意見として、まず、過年度の振り返りには、担当職員と地域との対話の中から作成されたものを記述してほしいということですね。資料3で、今回新たに追加された項目ですね。認定コミュニティの活動状況について、これは、作成される際に、地域の声を十分に拾って、普段拾っていらっしゃるということはあるのですけれども、改めてこういうシートに記入する際に、担当職員と地域との対話の中からこれが作成されるということが望ましい、とまとめてはどうかと思っております。もう少し細かくは三輪先生からのご発言がありましたので、中身は議事録等で事務局に伝わるかと思うのですけれども。

2番目として、これも資料3、年度での変化がわかるように、資料3の担当による書き込みをお願いしたいというのは、水島委員のご意見でしたね。同じ事業が継続されていくということもあろうと思うのだけれども、それはどういうポイントを見て我々が助言をすればいいのかということがわかるようにというご趣旨だったと思うのですけれども、特に今年度はこういう工夫をしたとか、そういう年度での変化がわかるような書き方をしてもらいたいと私としては理解しました。

3番目が、6月8日の発表会は、打ち解けた雰囲気の中で交流できるように工夫をしていただきたいということですね。

という以上3点にまとめてみましたけれども、これをベースに後で事務局に議事録を起こしてもらって内容を踏まえて、答申内容として洗練させて、会長、副会長にご一任をいただいて、答申文としてまとめてみたいと思っておりますけれども、まとめ方はそれでよろしいですか。

あと、答申内容ですけれども、今、一応3つにまとめてみましたけれども、こういう内容でいいでしょうか。

(異議なしの声)

では、このように進めたいと思います。どうもありがとうございます。いろいろとご意見を頂戴いたしまして、大変参考になったと思います。

それでは、今日のメイン議題の(1)は終わりました、(2)のその他に移ります。

では、その他として、委員から特に問題提起等ございますか。

こういうのをやっている、どうしても湘北地区は早く立ち上がるといいね、みたいな期待はあるかと思うのですけれども、今、鋭意やっていますので、来年度が楽しみだなと思います。

特に各委員からございませんでしたら、事務局から連絡等ありましたらお願いします。

○事務局(永倉課長補佐)

本日は、お忙しい中ご審議いただき、ありがとうございました。

次回の日程等について確認をさせていただきます。

先ほどスケジュールの中で、31年6月下旬の開催ということをご予定しておりますので、今後、個別に皆様へ調整させていただきますが、6月の20日以降で日程調整をさせていただく予定となっております。

こちら、審議時間の都合で、その日の13時から17時まで、場合によってはもう少し延びる可能性もございますので、そういった日程での調整をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

また、日程とともに、5月の末には、今ご説明させていただきました各地区から出た資料と、それに加えて、助言シート等をまとめたものを5月31日を目安に送付させていただきます。さらに、任意になりますが、6月8日の情報交換会、できればご参加をいただきまして、それぞれの意見をまとめた上で、6月中旬にご返送いただきたいと思います。

以上、よろしく願いいたします。

○名和田議長

後ほど日程調整が行われますので、ご協力をよろしく願いいたします。

では、今日はこれで全て終わりでしょうか。

日程調整そのものはここでなくていいわけですか。

○事務局(永倉課長補佐)

今、ご都合がわかりますか。

○名和田議長

私はわかるのですが、どうでしょう、皆さんはまだ新年度の予定はわからない。

私は、来年度、実はサバティカルという、授業も雑用もないのです。でも、皆さんどうですかね。来年度の予定はおわかりになりますか。

(日程の調整)

○事務局（永倉課長補佐）

では、28日ということでとりあえずここでは決めさせていただきます。

○水島委員

議会はいつごろ決まるのですか。議会の終わった後に、決算をやります。決算の前に会議が幾つか出ていくので、6月がだいぶ入ってくるので、一応日を決めておいたいただいたほうが調整しやすいです。

○事務局（富田課長）

選挙が今回あるので、通常どおりいかないと思うのですね。

○水島委員

わかりました。

○名和田議長

では、一応こことしては6月28日に決めておいて、あとは会議室を当たっていただくということにしましょうか。

では、次回は6月28日ということに一応しておきたいと思います。

審議は以上なので、あとは閉会のお言葉を事務局からお願いします。

○事務局（富田課長）

それでは、1時間強の時間ありがとうございました。今日いただいたご意見を含めまして、また資料を当課で整理して、予定どおりに進めていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

また、日程につきましても、会議室の確保の話になりますので、早めにお知らせしたい

と思います。

今日はありがとうございました。

会長署名 名和田 是彦

委員署名 柿澤 政雄